地域おこし協力隊　活動報告

令和８年度　第２四半期（７月～９月）



石神 美由希

・令和８年４月16日 着任

・デジタルサポーター

スマホ教室

エールのちょこっとで月１回スマホ教室を行っています。
今期は、詐欺電話や詐欺メール、防災といった「身を守る」ためのテーマを多く取り上げました。防災の講座の際は、県内でも大きな被害のあった豪雨発生の直後で、受講者の皆さまも非常に熱心に聞いてくださり、普段からの備えの大切さを再認識する機会となりました。

結ネット



町内会アプリ「結ネット」のサポートを行っています。
度重なる集中豪雨や大きな地震が発生により、防災を意識される機会が増え、多くの町内会様から、結ネットの「災害モード」についてお問い合わせをいただきました。災害モードを発信すると住民の方の安否確認を行うことができます。防災訓練と同時に安否確認を行っていただいたり、豪雨の際は実際に安否確認に活用される町内会様もありました。

共創ポイント



12月まで3期を行っています。共創ポイントが取得できるイベントや場所に出向きLINEに配信しています。ポイント取得場所の１つである博物館はなんと無料です！富山平野や富山湾、能登半島を一望できるカフェのご利用もおすすめです。共創ポイントをためることで新たな滑川の魅力を知る機会にもなるかもしれません。

なめりかわ未来学校サマースクールへの参加



滑川では、小～大学生を対象にした探究的な学びの機会である「なめりかわ未来学校」を開催しています。そのプログラムの1つサマースクールに参加させていただきました。瀬羽町散策班の子達と一緒に滑川の歴史的建物の見学や建物を通して地域づくりをされている方々のお話をお聞きし、子ども達は未来の滑川について話し合い思い思いに形にしました。夜はバーベキューとSLハウスでの宿泊。緊張していた子も最後はとびきりの笑顔に変わっていたことが印象的でした。小学生～大人、異なる年齢層が一緒に遊びや対話を共にし、滑川の未来を考え表現する貴重な機会で、きっと大人も子どもも「ふるさと」としての滑川への思いがより一層強くなったのではないかと感じました。成果発表の「子どもサミット」に参加できなかったのが心残りなので来年はぜひ参加したいです。

研修への参加



全国地域づくり人財塾へ参加しました。
様々な立場の人と交流と対話、自分が楽しむということの大切さや対話しやすくする方法などすぐに取り入れられる手法などを学びました。全国で活躍される市町村職員の方々とのご縁を今後の活動にも役立てていきたいと思います。

その他



滑川市での生活がもうすぐ半年になろうとしています。
今は兵庫県と行ったり来たりの生活で(総移動距離約5000キロ)、
なかなか滑川のあちこちへ出かけることができないのが悩みですが、
ネブタ流しやふるさと龍宮まつり、なめりかわランタンまつりなど、
滑川ならではのイベントに参加させいただき、準備や運営してくださる方々の思いやご尽力を肌で感じることができました。
あっという間に来そうな雪の季節、車がない生活をどう乗りきるかを考えることはもう少し先に延ばしたいと思っています。